

12月の授業記録をお送りいたします。

師走の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

季節の移ろい、時の流れとは実に早いものです。今冬は、平成最後の冬——30年にわたる「激動の時代」がまもなく終わりを告げようとしています。過ぎ去りし「平成の日々」をふと顧みる時、様々な記憶と共にこれまで歩んできた歳月の重みを改めて実感する、今日この頃です。

通りを吹き抜ける寒風は文字通り身をさすような冷たさで、しみじみと年の瀬を感じさせます。こうなると恐ろしいのは、インフルエンザ。罹患することによってお子様の貴重な勉強時間が奪われてしまいますから、特に受験生のご家庭においてはお子様が受験勉強に全力を発揮できるように、その健康管理にはくれぐれもご注意ください。また受験生にとっては迫りくる受験に対し不安や焦りを募らせる時期でもありますから、ご家庭の方にとってはご心配も多々あるかとは存じますが、過度に神経質にならずに、お気持ちにゆとりをもって温かくお子様の頑張りを見守っていただけると幸いです。



12月22日(土)より日曜休み・正月休みをはさんで1月7日(月)まで、正味11日間「冬期講習」が実施されます。「冬期講習のご案内」はすでに各ご家庭にご送付させていただきましたので、下記では注意点だけいくつか触れさせていただきます。①・②に関しては、特にご注意ください。

■塾からのご案内■

冬期講習受講におけるご注意点



- ① 申込書提出の締め切りは 12月19日(水)
- ② 冬期講習費の納入期限は 12月26日(水)
- ③ 平常授業は 年内は 12月28日(金)まで実施します
年明けは 1月4日(金)から実施します

受験生へのひとことメッセージ

冬期講習は、受験に向け総合力・応用力をつけていくための集中学習ができる最後の大切な時期です。各種の総合問題や入試類似・模擬問題を豊富に解きこんでいくために、この冬期講習を大切に活用してください。

学習のアドバイス

入試本番が間近に迫ってきました。そこで、今回より受験生を対象とした学習のアドバイスを行っていきたく思いますので、現在の受験生はもちろん、将来受験生になる人も参考にしてください。

「受験勉強」「入試対策」などと聞くと、何か特別な勉強をしなければならないと感じる人がいるかもしれませんが、そんなことはありません。埼玉県教育委員会が発表した学力検査問題の出題の基本方針には「中学校における平素の学習を重んじ…」「基礎的な知識及び技能を見る問題…」という表現が毎年必ず入っています。これは「普段の授業を大切にし、まじめに取り組んでいけば解ける問題ですよ」というメッセージです。英語であれば難しい単

語や連語には(注)がついていますし、数学では教科書にない公式や定理を用いて解答を求めることはありません。しかし、実際に過去問を解いてみると、定期テストと比べてかなり難しい印象を受けるはず。それは何故でしょうか。理由は簡単で、出題範囲が幅広い領域にわたっているからです。範囲が広いと解答を導くために必要になる知識の選択肢が多くなりますし、組み合わせも多岐にわたります。定期テストの勉強だけでは、必要な知識や組み合わせを瞬時に見極める直観力や判断力はなかなか身に付きません。

このような力を身に付けるには、2週間ぐらいで終わりそうな薄めの問題集を何冊もやり遂げることが効果的です。1冊終わらせることに達成感が生まれ自信がついてきますし、それぞれの関連性が理解できるようになります。そうすれば情報処理能力が高まり、自然と解法がひらめくようになってきます。ただし、やり遂げることに夢中になりすぎてしまい、いい加減に取り組むようなら意味がありません。出来なかった問題は必ずやり直して、弱点を克服してください。

いきなり問題集をやることに抵抗がある人は、英単語や漢字、公式や用語など覚えなければいけないことをカードにして、素早く答える練習をしてみましょう。最初のうちは知識を関連付けるために単元ごとに練習し、徐々にランダムにしていってください。ポイントはとにかく“素早く”答えることです。そうすることで頭の回転が速くなり、効率よく勉強ができるようになります。



平成31年度入試の展望 ④

前は進学希望調査の結果についてお話ししましたが、いかがでしたでしょうか。今回は現時点での私立高校の動向についてお話しさせていただきます。

10月に実施された進学希望調査の結果は第一希望のみでしたので、私立高校の場合は単願受験を希望している生徒の人数ということになります。併願での受験を希望している生徒についての直接の資料はありませんが、併願校を2校以上受験する生徒が年々少なくなっているという現状を踏まえると、今回の進学希望調査の結果もある程度の目安にはなるかと思えます。

今年度の私立高校の希望者は、好調だった前年度の反動からやや減少しています。特に学力上位校では落ち込みが激しく、基準が変化していないにもかかわらず、星野、西武学園文理、狭山ヶ丘などが前年度よりも希望者を大幅に減らしています。一方、叡明、埼玉栄、山村学園などは基準を上げましたが、前年度と比べて希望者がかなり増加しています。その他の中堅校についても、ほとんど前年並みか増加している模様ですので、受験を検討している場合には必ず個別相談を受けてください。



教室長日記

ヘーゲルの弁証法と受験勉強



みなさん、こんにちは。西所沢校の北村です。学習の調子はいかがですか。寒くなって参りましたので体調には十分お気をつけください。

さて、突然ですが、みなさんは、ヘーゲルという人を知っていますか? 「ヘーゲルの弁証法」で有名な学者です。

ヘーゲルは、弁証法における概念の発展段階には【正・反・合】の三段階があると言いました。すなわち、正とは、定立のことであり、反とは、反定立のことであり、合とは総合のことでありました。このヘーゲルの教えは、受験勉強にも通じると思います。

つまり、受験勉強においてもある教科においてある論点の典型問題を理解暗記し、次に、その論点を別の観点から考察し直した後、その論点を含んだ総合問題演習を行うことであると思います。

中学1年生・2年生は、この冬休みに個別典型問題演習を行うべきであると思います。

そして、中学3年生、高校3年生は、この冬休みに総合問題演習を行うべきであると思います。

受験生の皆さんをはじめ受験期ではない生徒さんにも是非、個別指導会の冬期講習の受講で学力の更なる飛躍を果たしてみたいはいかがでしょうか。

応援しております。

